

所沢税務署管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

税についての考え方

藤沢中学校 三年 大関 愛菜

「税の作文を書いてきて下さい。」

私は、先生にその言葉を言われて税とは何か疑問に思った。クラス男子が税と聞いて『消費税』を例に挙げていた。私はそれを聞いて国民の義務にも入っている税について深く考えたことがなかったため今回の作文を書くという機会はとても良い経験になると思った。

私は小学生の頃、授業でもし税金がなくなったらどうなるのか、という動画を観た。動画の中での税金のない世界は、道路が壊れていて、消防車や警察を呼ぶのにもとても高いお金を払わなければいけなかった。今、私達が通えている学校も税金がないことでごく一部の子供しか学校に通えない状況になっていた。その理由は、公立学校に通う生徒一人あたりの年間教育費負担額は中学生は百万円以上小学生は八十五万円以上だからだ。普通に使うことができている机や椅子、教科書も全て有料になることでこんなにもお金が必要となることを知って、周りの方々に感謝をし、大切に使わないといけないなど改めて感じた。警察などを呼ぶのも高いお金がかかると、病院で病気を見てもらうのもとてもお金が必要だと思う。医療費が十八歳まで無料だということもなくなってしまったくさんの病人が出てしまう。今のようなコロナウイルス感染症が流行するなかで、そのようなことがおきたらたくさんの死者がでたのだらうなど

思った。税金は他にも色々なところで使用されている。その動画を見ることで税金がどれほど重要なものかを理解できた。

私は、まだ働いていないので税を納めるという感覚はあまり分らないが、将来父と母のように一生懸命働いて税を納めるようになる前に、もっと税金のことを知っていこうと感じる。税の使われ方についてのことに對してよく考えることができた次に疑問に思った『消費税について』も考えようと思う。

消費税は、どんな年齢の人からでも、決まった金額の税金を納めるため、公平だと思うが年々税率が上がっている。税金はお金を多く持っている人ほど多く納めなければいけないが、それはたくさん働いている人ほど多くお金を納めなければいけないというように考えると少し不公平なように感じた。今まで納めてきた人達が年をとることで年金が渡される制度があるけど、これは少子高齢化の現代ではとても厳しいと私は感じる。将来税金を納めなければならない私達にとってとても不安に感じた。今、問題点を解決するための受給年齢を引き上げるといふ策が出ているがそのようなことをしたら私達は将来何歳でもらうことになるのかと不安に感じる。

今回、税の作文を書くということから税の使われ方や消費税について、年金についてなどいろいろなことをさらに深く知ることができたと思う。今回の経験を将来に活かしていき、国に貢献できるように頑張ろうと思った。